

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年10月 8日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官・岡 村 乾

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年11月10日から 令和 8年11月17日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年11月24日 午前10時00分 場 所 横浜地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年12月 7日 午後 1時10分 場 所 横浜地方裁判所第3民事部
特別売却 実施期間	令和 8年11月30日 午前10時00分から 令和 8年11月30日 午後 3時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所所定の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和8年10月 8日から当庁物件明細等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和8年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	14,420,000 11,536,000	一括	2,884,000	71,656	18,753
1	3,420,000				
2	10,000				
3	10,990,000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40 番 40 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 61.48 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40 番 42 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2.57 平方メートル |
| | (現況) | |
| | 地 目 | 公衆用道路 |
| 3 | 所 在 | 横浜市南区三春台 40 番地 40 |
| | 家屋 番号 | 40 番 40 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 3 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 24.94 平方メートル
2 階 29.91 平方メートル
3 階 29.91 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 8年 8月10日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 岡 村 乾

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号3】

株式会社BELDAYSが占有している。同人の賃借権は抵当権に後れる。ただし、代金納付日から6か月間明渡しが猶予される。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等が全て本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40 番 40 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 61.48 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40 番 42 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2.57 平方メートル |
| | (現況) | |
| | 地 目 | 公衆用道路 |
| 3 | 所 在 | 横浜市南区三春台 40 番地 40 |
| | 家屋 番号 | 40 番 40 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 3 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 24.94 平方メートル
2 階 29.91 平方メートル
3 階 29.91 平方メートル |



令和 8 年(ケ)第 1 5 3 号
令和 8 年 6 月 5 日受理
令和 8 年 7 月 1 4 日提出

現況調査報告書

横浜地方裁判所

執行官 高 仲 建次郎

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40 番 40 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 61.48 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40 番 42 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2.57 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 横浜市南区三春台 40 番地 40 |
| | 家屋 番号 | 40 番 40 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 3 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 24.94 平方メートル
2 階 29.91 平方メートル
3 階 29.91 平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	(住居表示未実施)	
土地	物件1, 2	
現況地目	☒ 宅地 (物件1) ☒ 公衆用道路 (物件2) ☐ (物件)	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物 (目的外建物)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)	
その他の事項		
建物	物件3	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類 : ☐ 構造 : ☐ 床面積 :	
物件目録にない附属建物	☒ ない { 種類 : ☐ ある { 構造 : 床面積 :	
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	☒ ない [地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 ☐ ある 保管開始日 平成 年 月 日	
土地建物の位置関係	☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件 3 関係)			
占有範囲		☒ 全部 ☐	
占有者		☐ 債務者 ☒ 株式会社BELDAYS	
占有状況		☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☒ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐	
☒ 関係人 (☒ 株式会社BELDAYS代表者代表取締役 A (占有者) の陳述 / ☒ B (債務者兼所有者) の照会回答書の要旨) ☒ 提示文書(契約書)の要旨			
占有権原		☒ 賃借権 ☐ 使用借権 ☐	
占有開始時期		令和8年3月1日	
最初の 契約等	契約日	令和8年3月16日	
	期間	令和8年3月1日から ☒ 令和8年10月22日まで 7か月間 ☐ 期間の定めなし	
更新の種類別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の 契約等	期間	令和 年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし	
契約等 当事者	貸主	☒ 所有者 ☐ その他の者 ()	
	借主	☒ 占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等		毎月 金 165,000円 (毎月月末限り翌月分を支払う。) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金		☐ ない ☒ ある (☒ 敷金 330,000円 ☐ 保証金 円)	
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他			
執行官の意見		☒ 上記のとおり ☐ 下記のとおり ☒ 「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (占有者代表者)	1 本件建物は、B（債務者兼所有者）との間で、株式会社BELDAYS 名義で賃貸借契約を締結し、配偶者とともに居宅として利用しております。 2 居住を開始したのは令和6年10月です。当初の契約当事者は配偶者であり、契約期間は2年間でした。 3 令和7年5月に私が会社を設立した際、当時の管理会社を通じて、契約名義を会社名義へ変更するよう依頼いたしました。しかし、その後に管理会社の変更があったこと等から手続きに時間を要し、実際に名義変更契約が完了したのは令和8年3月になってからでした。 4 現在の契約期間が7か月となっているのは、従前の賃借人（配偶者名義時）の契約内容をそのまま引き継いだためです。 5 現在、犬を1匹飼育しております。室内の一部（壁や柱）に、飼犬が付けた傷があります。 6 リビングの床の一部に緩み（踏むと沈むような箇所）が見られます。
執行官の意見	
1 目的物件の状況は、建物図面（各階平面図）、間取図及び添付写真等のとおりである。 2 目的物件の占有者及び占有状況等については、関係人の陳述、賃貸借契約書の内容及び立入調査の結果から2枚目のとおりである。なお、株式会社BELDAYSの賃借権は最先の抵当権設定日（令和6年6月27日）に後れるものの、競売手続開始前から本建物を同権原に基づき占有しているため、明渡猶予制度の適用を受けるものと解する。 3 室内で犬が1匹飼育されている。Aの陳述によれば、その影響で壁等に傷があるとのことであり、当職において目視調査したところ、リビング入口付近（写真⑦）に傷を補修材で補修した跡を確認した。 4 リビングの床の一部に緩みがあるとの陳述に基づき、当職において調査したところ、リビング窓際付近（写真⑧）の床に黒く変色した部分が認められ、同所を踏むと床が沈み込む状況（緩み）を確認した。 5 評価人の調査結果によれば、物件1土地は、北西側で建築基準法第42条第1項に、北東側で同条第2項に該当する市道にそれぞれ接している。	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
令和8年6月12日 (金) 16 : 15 — 16 : 30	横浜地方法務局	登記事項全部証明書等申請
令和8年6月12日 (金) 16 : 50 — 17 : 00	目的物件所在地	外観調査 占有調査 写真撮影
令和8年6月23日 (火) 16 : 50 — 17 : 15	目的物件所在地	外観調査 占有調査 写真撮影 Aから事情聴取
令和8年6月24日 (水)	郵便	Bに対し照会書送付 (回答書につき 7月2日受領)
令和8年7月2日 (木) 9 : 30 — 9 : 45	横浜地方法務局	履歴事項全部証明書等申請
令和8年7月2日 (木) 11 : 00 — 11 : 45	目的物件所在地	立入調査 (評価人同行) 写真撮影 Aから事情聴取
年 月 日 () : — :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(横浜地方法務局管轄)

令和8年4月16日 東京法務局

炭の製品 (木炭)



各階平面圖

圖
面
平
鹽
各

40番40

建物の所在
横浜市南区三春台40番地40

(呼吸器)

本図面は A3 判を A4 判に縮小したものである。
 ←○は写真撮影位置・方向

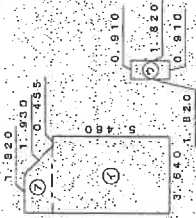
人請申

縮尺 $\frac{1}{250}$

縮尺 $\frac{1}{500}$

作者

隨



整
理
本

②	1.820	+	0.185	x	1.365/2	=	13.459125
③	3.640	x	6.450			=	19.83400
④	0.010	x	1.820			=	1.8200
					合計		24.955125
					比		24.95%

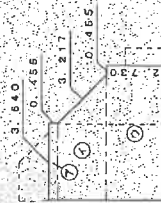
2. 階



求積表

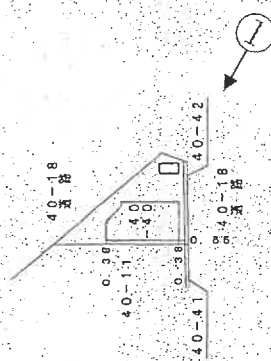
⑦	3.640×0.455	$\times 2.75/2$	$= 1.088200$
⑥	3.640×5.915		$= 10.888125$
⑤	3.640×2.730		$= 17.350100$
④	$6.370 \times$	合計	29.915125
		圧力値	29.915

3. 踏



交 續 來

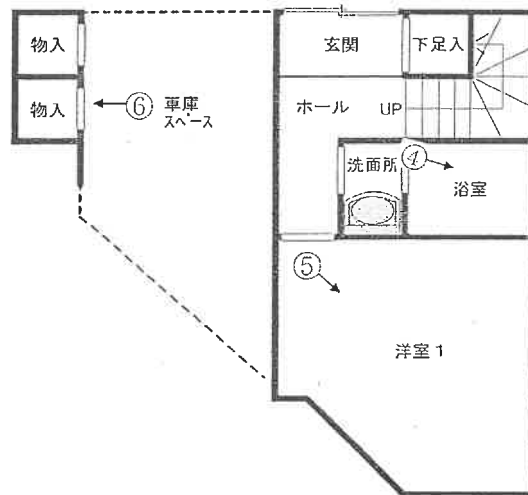
②	3.640×0.455	$=$	1.656200
③	$(3.640 + 5.819) \times 2.35/2$	$=$	10.888125
④	5.370×2.730	$=$	17.301000
		合計	29.915125
		実測値	29.91m



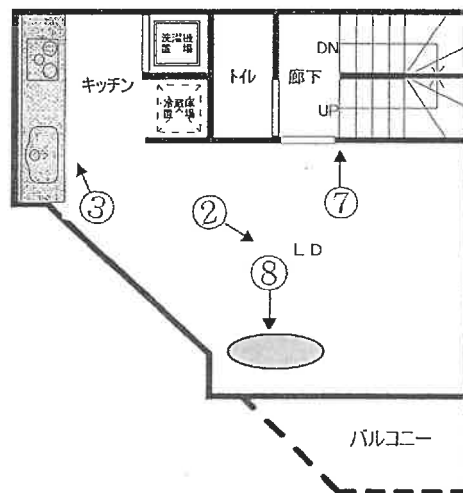
←○ は写真撮影位置・方向

間取図

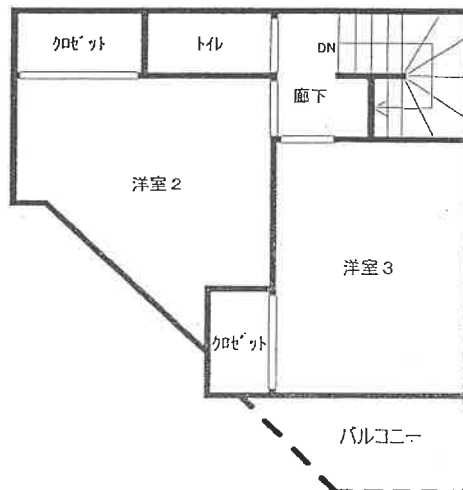
1 階



2 階



3 階



令和 8 年 (ケ) 第 153 号

① 全景（北側から撮影）



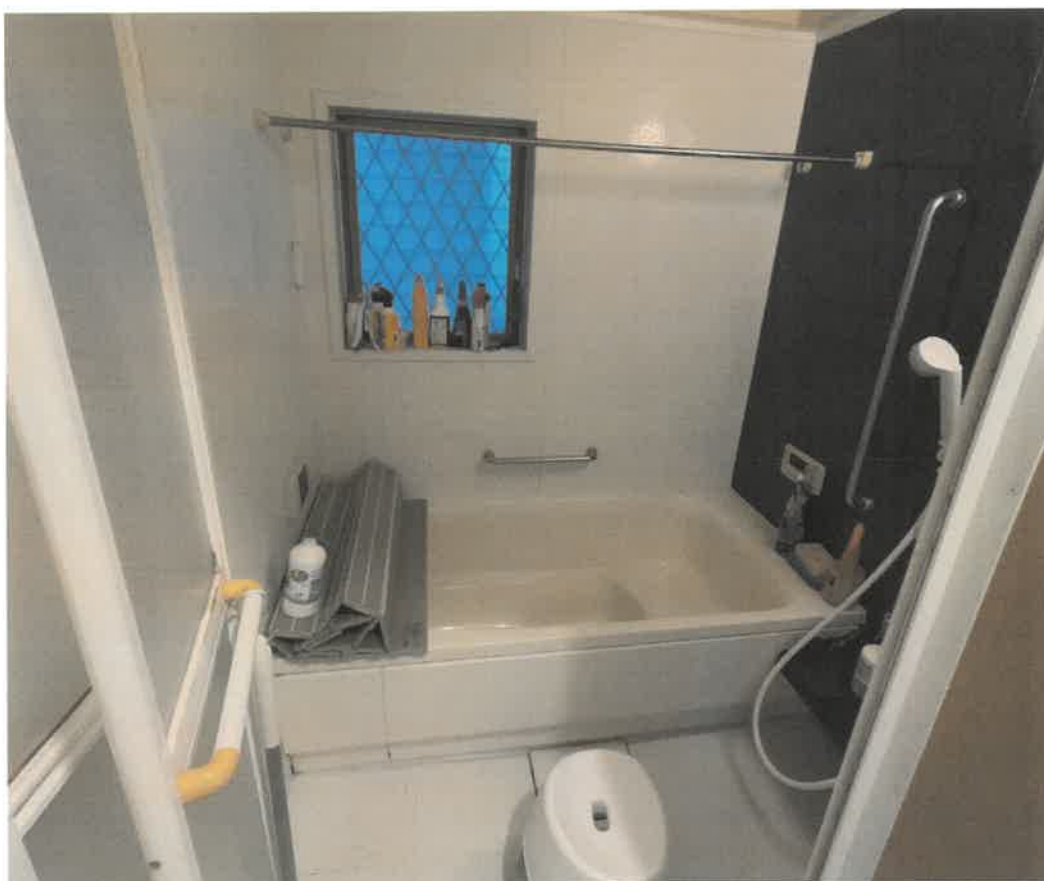
② リビング



③ キッチン



④ 浴室



⑤ 洋室 1 (1 階)



⑥ 物入



⑦



⑧



令和 8 年 (ケ) 第 153 号
令和 8 年 7 月 2 日 現地調査
令和 8 年 7 月 16 日 評 価

横浜地方裁判所

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

坂本 圭一 印

第 1 評価額

一括価格（合計）	
金 14,420,000 円	
内 訳 価 格	
物 件 1（土地）	金 3,420,000 円
物 件 2（土地）	金 10,000 円
物 件 3（建物）	金 10,990,000 円

- ① 一括価格は、物件 1 乃至 3 各不動産について、一括売却（民事執行法第 61 条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件 1 の内訳価格は物件 3 のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件 3 内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

1. 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、競売の目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
2. 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
3. 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
4. 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件 番号	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり	
2		地目 公衆用道路
3		
特 記 事 項		
なし		

* 現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じである。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40番40 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 61.48平方メートル |
| 2 | 所 在 | 横浜市南区三春台 |
| | 地 番 | 40番42 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2.57平方メートル |
| 3 | 所 在 | 横浜市南区三春台40番地40 |
| | 家屋 番号 | 40番40 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき3階建 |
| | 床 面 積 | 1階 24.94平方メートル
2階 29.91平方メートル
3階 29.91平方メートル |

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	京急本線「黄金町」駅の北西方約750m（道路距離）	
付 近 の 状 況	一般住宅の中にアパート等が混在する高台の住宅地域	
主な公法上の 規 制 等 （道路の幅員等の個 別的な規制を考慮し ない一般的な規制）	都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他 の 規 制	市街化区域 第1種住居地域 60% 200% 準防火地域 第4種高度地区、宅地造成等工事規制区域
画 地 条 件	規 模 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢	61.48㎡ 不整形 間口約7.9m、奥行約12.3m 敷地内ほぼ等高 （北西側道路より約0～2.5m高い）
接 面 道 路 の 状 況	北西側幅員約5.6mの市道（建築基準法第42条1項）に約13.3m 接面。 物件2を通じて北東側幅員約3.7mの市道（建築基準法第42条2項） に約7.9m接面。	
土 地 の 利 用 状 況 等	物件3の建物敷地等として利用されている。 建物の配置は附属資料建物図面写のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 ガ ス 下 水 道	あり あり あり
特 記 事 項	なし	

2. 土地の概況及び利用状況等（物件2）

画 地 条 件 （規模，形状等）	幅約0.3m、長さ約7.9m、規模2.57㎡の带状地
土地の利用状況等	◇公衆用道路として利用されている。
特 記 事 項	◇令和8年度土地固定資産評価額は、道路非課税となっている。

3. 建物の概況及び利用状況（物件3）

区分	主である建物	
建築時期及び 残存耐用年数	建築年月日 経過年数 経済的残存耐用年数	平成20年7月10日新築（登記記載） 約19年 約11年
仕様	構造 屋根 外壁 内壁 天井 床 設備 その他	木造3階建 スレート葺 サイディング等 クロス貼等 クロス貼等 フローリング等 キッチン、トイレ、浴室、洗面所等 特になし
床面積（現況）	1階：24.94㎡、2階：29.91㎡、3階：29.91㎡ 延べ84.76㎡	
現況用途等	種類 間取り	居宅 3LDK+物置 （附属資料間取図のとおり）
品等	普通	
保守管理の状況	普通	
建物の利用状況	令和8年7月2日内部立入調査。 賃借人である株式会社BELDAYS代表者代表取締役Aが居宅として使用占有している。 賃貸借契約の内容は以下のとおり。 賃貸人 債務者兼所有者 賃借人 株式会社BELDAYS 占有開始時期 令和8年3月1日 最初の契約等 令和8年3月1日～令和8年10月22日（7か月間） 現行賃料 月額165,000円 敷金 330,000円 （詳細は、執行官作成の現況調査報告書参照）	
特記事項	◇検査済証あり。 ◇築19年が経過しており、経年相応の劣化・摩耗等がみられた。 ◇室内で犬を一匹飼育しており、リビングに犬がつけたと思われる傷を補修した跡がある。 ◇リビング窓付近に床が黒く変色した部分が認められ、踏むと床が沈み込む状況（緩み）を確認した。	

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画 地 価 格 (円/㎡)	個別 格 差	更地価格 (円/㎡)	地 積 (㎡)	建付 減価	建付地価格 (円)
1	219,000	115 100	252,000	× 61.48	×0.90	= 13,940,000

標準画地価格：標準画地価格は下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して決定した。

公示地 横浜南-13

$$\begin{array}{ccccccc} & & & \text{標準化} & & & \\ & & & \text{補 正} & & & \\ \text{公示地価格} & \text{時点修正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} & \\ 230,000 \text{ 円/㎡} & \times \frac{101}{100} & \times \frac{100}{100} & \times \frac{100}{106} & = & 219,000 \text{ 円/㎡} & \end{array}$$

◇時点修正：令和8年1月1日から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：標準画地で補正の必要なし。

◇地域格差：公示地の所在地域は対象地域に比し接近条件、環境条件、行政的条件等の総合格差で上記のとおり。

◇個別格差：角地、市場性（規模）等で優り、形状、高低差等で劣り、上記のとおり。

◇建付減価：建付減価率を10%と判定した。

② 物件2（土地）

物件2は、公衆用道路として利用されているので、当該道路の性格等を考慮して土地価格を求めた。

物件 番号	標準画 地 価 格 (円/㎡)	道 路 価 値 率	地積 (㎡)	土 地 価 格 (円)
2	219,000	× 0.03	× 2.57	= 20,000

標準画地価格：「①のとおり」

道路価値率：3%と判定した。

③ 物件 3 (建物)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡)	現況延床面積 (㎡)	現 価 率	建 物 価 格 (円)
3	270,000	× 84.76	× 0.29	= 6,640,000

現価率

- ・ 経過年数 19 年、経済的残存耐用年数 11 年、観察減価率 20%
- ・ 耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり査定した。

$$\text{現価率} : \frac{\text{経済的残存耐用年数 11 年}}{\text{経過年 19 年} + \text{経済的残存耐用年数 11 年}} \times (1 - 0.2) = 0.29$$

2. 評価額の判定

前記により求めた価格を基に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 敷地利用権等価格

物件 番号	建付地価格(円)	土地利用権等割合(注)		土地利用権等価格 (円)
1	13,940,000	×	0.65	法定地上権 = 9,060,000

(注)土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を65%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円)	土地利用権等 価格の控除及び加算 (円)	占有減 価修正	市場性 修 正	競 売 市 場 修 正	評 価 額 (円)
1	13,940,000	－ 9,060,000		× 1.0	× 0.7	= 3,420,000
2	20,000			× 1.0	× 0.7	= 10,000
3	6,640,000	＋ 9,060,000	×1.0	× 1.0	× 0.7	= 10,990,000
一括価格（合計）						= 14,420,000

占有減価等：必要なし。

市場性修正：必要なし。

競売市場修正：－30%と判定した。

第6 参考価格資料

1. 公示地価格 横浜南-13

所 在：横浜市南区三春台80番8

価 格：230,000円/㎡

位 置：京急本線「黄金町」駅約830m

価 格 時 点：令和8年1月1日

地 積：201㎡

供給処理施設：水道、ガス、下水

接 面 街 路：南側4.6m 市道

用 途 指 定 等：第1種住居地域（建蔽率60%，容積率200%）、準防火地域
地 域 の 概 要：一般住宅、共同住宅等が混在する高台の住宅地域

2. 固定資産税評価額（令和8年度）

物件1 6,797,228円

物件2 非課税

物件3 3,985,469円

第7 附属資料の表示

位置図

公図写（目的物件をA4判へ抜粋したものである。）

地積測量図（本図面はA3判からA4判へ縮小したものである。）

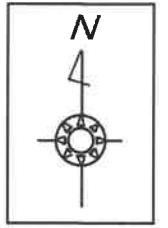
建物図面・各階平面図写（本図面はA3判からA4判へ縮小したものである。）

間取図

以 上

位置図

縮尺 1/10,000



スーパーマッフルデジタル22
2021年7月 発売
株マッフル
地図使用承認©マッフル第7-184号

公図(写)

縮尺 1/600



これは図面に記録されている内容を証明した畫面である。
(横浜地方法務局管轄)

發品出

-13-

請求番号：22-2

受付年月日	20年2月13日
受付番号	第 3934号

平成20年 1月 31日作成)

(神奈川県土地家屋調査士会)

作者

申請人

縮尺 $1/250$

(長源納)

測地系	任意座標系
測量年月日	平成19年10月6日測量

本図面は元図をA4サイズに縮小したものである

地積測量図(写)

地積測量圖

地	番
	40-11
	40-40、40-41

土地の所在

座標求積表

地 基		{A}40-11			
NO	標 識	X	Y	$X_{n+1} - X_{n-1}$	$Y_{n+1} - Y_{n-1}$
103 (		498.389	497.049	13.611	5765.33939
105 (		502.279	494.395	-2.895	-1431.273525
106 (		495.504	484.036	-12.841	-5215.506276
55 (	)	499.438	482.243	-6.836	-3296.613148
66 (	)	488.668	482.170	8.961	4320.725370
	墩 面 積				142.656360
	面 積				71.3331800
	地 面 積				71.33 m ²

(B) 40-40

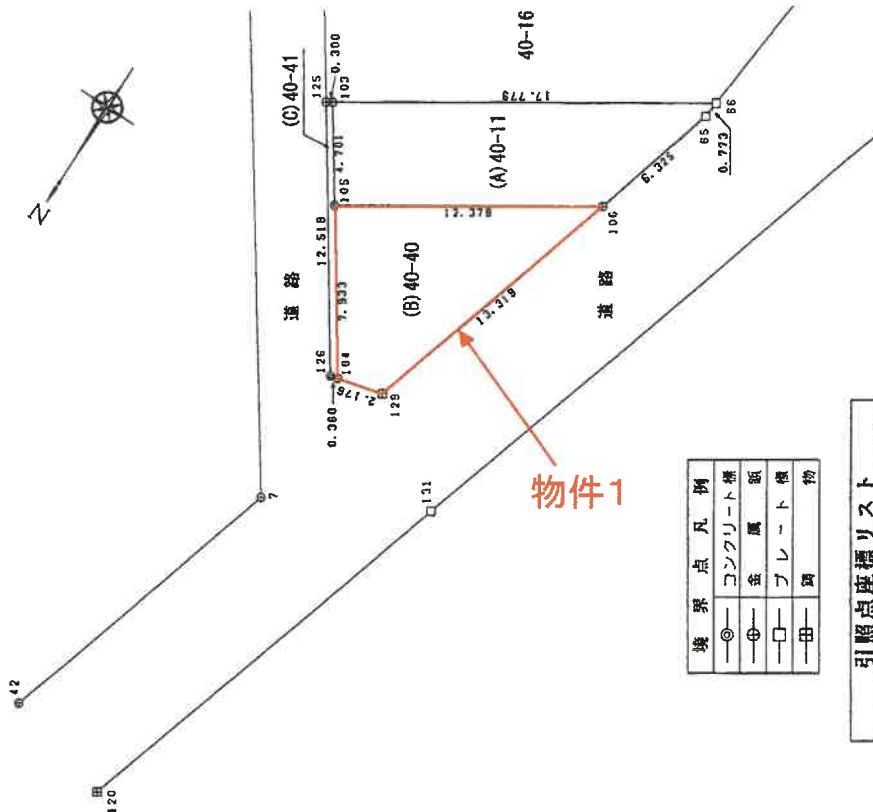
NO.	標 識	X	Y	$X_{n+1} - X_{n-1}$	$Y_n (X_{n+1} - X_{n-1})$
105 (	)	502.279	494.395	13.323	6586.824585
104 (	)	508.827	488.917	5.998	2938.522160
129 (	)	508.277	487.812	-13.323	-6498.119776
106 (	)	495.504	484.036	-5.998	-2903.247326
			倍 西 嶺		122.975547
			西 面 嶺		61.4897735
			地		61.48 m ²

(C) 40-41

NO	標 機	X	Y	$X_{n+1}-X_{n-1}$	$Y_n (X_{n+1}-X_{n-1})$
125 (	)	488.563	497.300	10.519	5231.98700
126 (	)	508.910	490.255	10.264	5032.079360
104 (	)	508.927	489.917	-6.639	-3252.58963
105 (	)	502.279	494.395	-10.428	-5155.581060
103 (	)	488.399	497.049	-3.716	-1847.034080
	倍 面 積				8.034553
	面 積				4.0172765
	面 積				4.01

境界点凡例	—◎—	コンクリート構
	—⊕—	金属額
	—□—	アレート構
	—田—	物

引照点座標リスト		
NO	X	Y
7	515.362	489.867
42	528.458	494.076
120	530.962	488.816
131	511.565	482.966



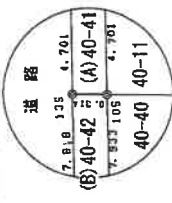
地積測量図(写)

地積測量図

地番	40-41、40-42
土地の所在	横浜市南区三春台

受付年月日	20年2月25日
受付番号	第5767号

拡大図 1:50



座標求積表

地番	(A) 40-41	X	Y	$X_{n+1} - X_{n-1}$	$Y_n (X_{n+1} - X_{n-1})$
NO					
125 ()		498.563	497.300	4.052	2015.058500
135 ()		502.451	494.658	3.716	1838.149128
105 ()		502.279	494.395	-4.052	-2003.288540
103 ()		498.399	497.049	-3.716	-1847.034084
			倍面積		2.886104
			地積		1.44306520
					1.44 m ²

(B) 40-42

地番	(B) 40-42	X	Y	$X_{n+1} - X_{n-1}$	$Y_n (X_{n+1} - X_{n-1})$
NO					
105 ()		502.279	494.395	-6.376	-3152.262520
135 ()		502.451	494.658	6.328	3284.034462
125 ()		508.918	490.265	6.376	3125.928640
104 ()		508.927	489.917	-6.639	-3252.558963
			倍面積		5.142619
			地積		2.5713085
					2.57 m ²

引照点座標リスト

NO	X	Y
7	515.362	489.867
65	489.438	482.243
66	488.668	482.170
106	495.504	484.036
129	508.277	487.812
131	511.565	482.965

境界点凡例	
①	コンクリート標
②	金属標
□	プレート標
田	樹

測地系	任意座標系
測量年月日	平成19年10月6日測量

申請人

平成20年2月22日作成

作成者

縮尺 1/250

本図面は元図をA4サイズに縮小したものである

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

(横浜地方支庁局管轄)

令和8年4月16日 東京法務局

登記官

建物図面・各階平面図(写)

(京産発)

建物図面
各階平面図

家屋番号 40番40

建物の所在 横浜市内南区三善台40番地40

縮尺 1/500

申請人

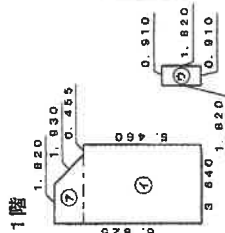
縮尺 1/250

作成者

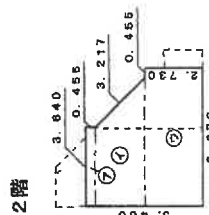
物件3建物

物件2土地

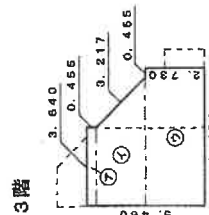
物件1土地



求積表



求積表



求積表

本図面は元図をA4サイズに縮小したものである

登記年月日：平成20年11月7日

これは図面に記録されている内容を証明した図面である。

(横浜地方裁判所 管轄)

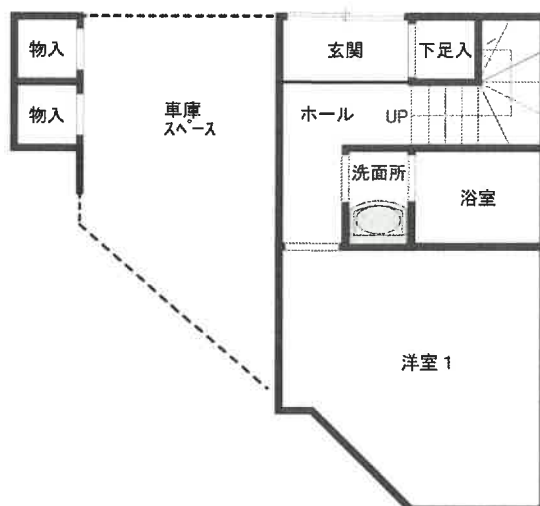
令和8年4月16日

東京法務局

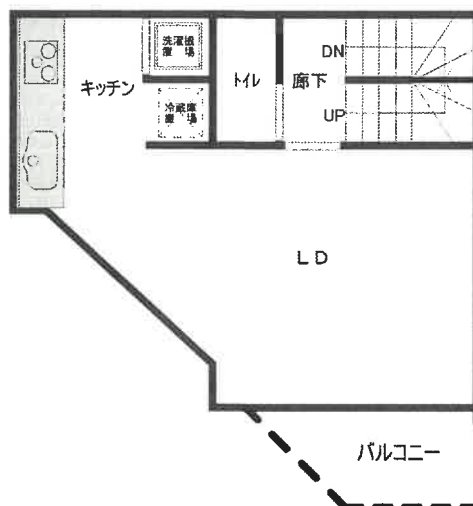
登記官

間取図

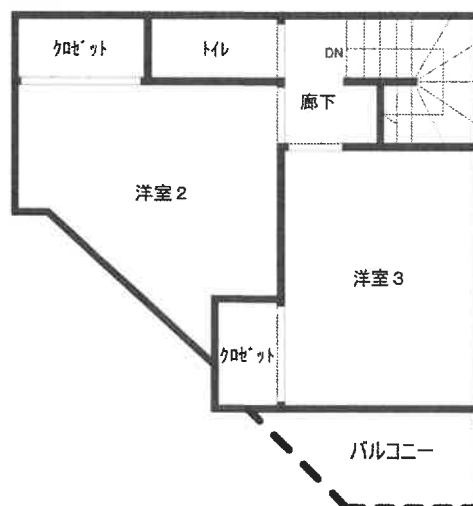
1 階



2 階



3 階



令和8年(ケ)第153号